

# SCIENCE PLANTER



## VOL.17

### 立体映像・プロジェクションマッピング…

～デジタル映像時代における拡張表現～

#### 講師



#### 石井達郎先生

(九州大学芸術工学研究院・デジタル工房長)

映像のデジタル化による立体（3D）映像の普及により、2010年頃は「3D元年」と賑わいましたが、現在需要は低下しました。しかし立体映像は今でも商業映画だけでなく、教育、医療などの様々な分野で活用されています。現在私が取り組んでいる有形・無形の文化財を題材にした実践的な映像コンテンツ制作とその表現手法に関する研究を通じた地域振興や伝統の継承に寄与するための研究や、室内空間全面を使った没入感のある映像提示手法、プロジェクションマッピングなど、スクリーンやモニターなどの画面の枠を超えた「拡張表現」に関する実践的な研究について紹介します。また映画における映像表現についても私の趣味（映画鑑賞）を混ぜながら少しお話する予定です。

\*\*\*\*\*

2003年 九州芸術工科大学 画像設計学科 助手として着任  
専門は、自らのコンテンツ制作を通じた「立体映像」「映像表現」「映像提示」の研究。趣味は映画鑑賞（「ゾンビ」、「ロボコップ」、「仁義なき戦い」シリーズは毎年最低一回鑑賞）

日にち: **2019. 4. 25 Thu.**

時間 : **17:00 - 18:15**

場所 : 芸術工学図書館1F AIVEA

★お問合せ: 芸術工学図書館 情報サービス係  
TEL: 092-553-9490  
EMAIL: toshokan@design.kyushu-u.ac.jp

**SCIENCE PLANTER**とは



サイエンスカフェ形式の気軽な雰囲気でのセミナーです。芸工の教員や学生が行っている研究を紹介し、新たな興味の「芽」を育むことをコンセプトとしています。